

公共施設（通り・広場）検討分科会 検討内容

検討テーマ

「現状を把握して、事業内容を精査する」

①事業（活動）のための現状マップ（危険な場所、魅力ある場所）の作成

- ・危険な場所マップなど。
- ・現状を知る。マップをつくる。

②改善方法等の検討、提案

- ・危険箇所の改善。
- ・公園整備。

活動計画の追加項目

道路の整備

- ・道路の整備、活用。
- ・来さまい館前の道路の整備。
- ・旧駅前通りの活用。

明神川の保全活用

- ・明神川の水質改善。
- ・明神川沿いに癒しの空間をつくりたい。
- ・明神川の歩道整備。
- ・明神川の照明整備。

道道道(通りと広場)

H24. 8. 29

第1回個別分科会

9/6 18:00

まちの駅2F

リーダー 佐藤さん
サブリーダー 中里さん
連絡方法 TEL&FAX

今回話題

街の声

- ・市役所の窓口を町中へ。
- ・昔は街中に支所があったよ!!

イベントの継続性

- ・祭りの存続。
- ・子供ねぶた 10 台に減。
- ・道の重要性の再確認。
- ・行き止まりが地域を衰退させている。
- ・まずは道を考える。

- ・街歩きマップを検討後に個人で現場確認。
- ・検討内容。安全マップの作成。
- ・やり方。昨年街歩きマップの写真を活用。

・去年度のマップから、街歩きのためのテーマに応じた点検力所のピックアップ。

テーマ：道路ネットワーク、歩行空間、広場、明神川など。



・第2回個別分科会は街歩き点検マップの作成(日程は第1回時に決定)。



・第3回以降は重点事業の選択、進め方、実現化の検討。

19. 街なかの活動拠点



16. 通りの東側装飾部分



14. 明神川への転道防止柵



15. 通り沿いのトイレの案内板



18. 歩道におかれたベンチ・テーブル・椅子



17. 通りから見える代官山公園の緑



13. 住家の奥にある社屋神社



12. 通り沿いの湧水




今後検討を進める活動

①道のネットワークを考える

ア、自動車＝旧田名部駅前の行き止まりの解消。

- ・災害を考えると自動車を通る道の整備。
- ・行き止まりの解消。
- ・自動車ネットワーク。
- ・道の整備。自動車。
- ・都市計画道路の延長。
- ・所有者は少ないと思われる。
- ・旧大畑線を道路にする。



新開地の通りまで、横迎町との連絡も解消される。

イ、歩行者＝(仮)昭和通りの整備

- ・イベント広場でイベントを開催すると、歩く人が結構いる。
- ・空地を広場に活用。
- ・回遊性を高める工夫。



回遊ルート、空間の設定。

②明神川の環境整備→親水空間の整備 ⇒親水空間の整備

○わき水の活用

- ・井戸水は、各自保健所で検査してもらっている。
- ・明神川の名水、わき水。
- ・水質も調べてみたい。

○水質浄化に時間がかかる

- ・源流がとぎれている。女館の川から引いていた。
- ・昔は用水、現在は生活排水路。

- ・まちなか。明神川をきれいに。
- ・水辺の整備。親水空間を核に(ポイントに)。
- ・イベント広場。周辺に親水空間整備。
- ・回遊するポイントが見えにくい。

○活性化のポイント

- ・まちの中心として、田名部神社があった。
- ・周りの飲食店は神社から借りている店子。
- ・田名部神社がポイントになっている。